

3 学年 道徳（人権）学習指導案

1 主題 公平な社会の実現をめざして

2 主題設定の理由（一部省略）

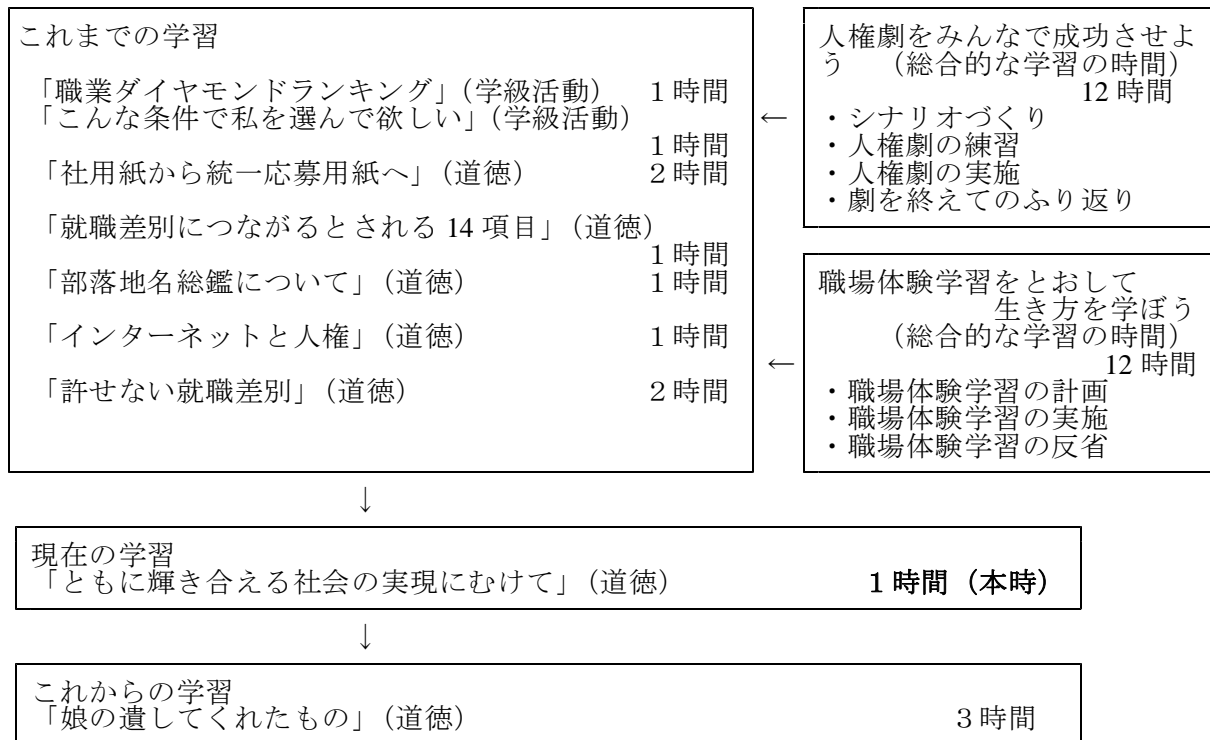
2 学期は就職差別についての学習を進めてきた。9 月の文化祭では、就職差別に関する「人権劇」のシナリオの一部を自分たちで考えたり、自分たちのメッセージを上手く伝えるために登場人物の心情に共感しながら演技を工夫したりすることで、不合理な就職差別について、自分の問題としてとらえ学習することができた。また、10 月に実施した職場体験学習においても、労働の意義や尊さを身をもって体験することができ、就職差別が自分にもかかわりのある身近な問題であるということを確認することができつつある。さらに、「部落地名総鑑について」、「就職差別につながる」とされる 14 項目」の学習に続いて、就職時の合否選考における様々なロールプレイを演じたり、見たりすることで、採用条件の中には人権侵害に関するものもあることに気づいた。このような就職差別は、自分たちの手で必ず解消していかなければならない課題であるということを確認した。

本時の学習では、これまでの様々な学習活動や体験活動により、自分自身やクラスの仲間どうしのつながりがどのように変化してきたかを話し合わせ、仲間との絆の深まりが差別解消の大きな力になることに気づかせたい。そして、大切な仲間とともに、差別のない公平な社会を築いていこうとする決意を語り合い、共感する中から、差別解消への意欲を育てたい。本校に 20 年以上受け継がれている『驚中人権宣言』の中の「互いの幸せをふみにじるものに対して絶対に許さない態度」をはぐくみ、一人ひとりの進路の実現に向けて、前向きにたくましく努力できる生徒の育成を願い、本主題を設定した。

3 ねらい

「就職」と「差別」に関する学習をとおして、仲間とともに誰もが公平な立場で職業選択ができる社会の実現をめざす意欲と態度を育てる。

4 指導計画



5 本時の学習

(1) 目標

自分の変容やこれからの生き方を語り合うことをとおして、公平な社会の実現をめざし、差別解消の仲間となる意欲を育てる。

(2) 普遍的な学習のテーマ 偏見と差別 個人人権課題名 同和問題

(3) 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 本時のねらいを確認する。	・ 人権劇の一場面をふり返らせる。
2 「就職」と「差別」を学んできて、自分の思いや、印象に残ったところを発表する。	・ 学習する前と現在の自分の考えを比べて変化したところなどを話し合わせる。
3 公平な社会の実現をめざして、これからの生き方について語り合う。	・ 人権劇や職場体験学習、立志の作文などこれまでの自分たちの取組をとおして、学んだことを踏まえ、差別解消に向けて、これからの自分の生き方を考えさせる。

(4) 評価

- ・ 自分自身の変容やこれからの生き方を話し合うことができたか。 (技能的側面)
- ・ 公平な社会の実現に前向きな考えをもち、不合理な差別を許さないという思いをより強くすることができたか。 (価値的・態度的側面)